



コミュニティソーシャルワーカー

CSW 通信

7 2025年
月号

中央圏域

ーCSW(コミュニティソーシャルワーカー)とはー 福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、 ※豊島区より受託
一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら、地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して解決に向けたお手伝いをしています。

みんなでいのちを守るプロジェクト(MIM pj) ～CSW×社協災害支援コーディネーターからの発信～



輪島市内(令和6年3月撮影)

能登半島地震で起きた大地震では、多くの尊い命が失われ、また建物被害も多数に上りました。いまだ癒えない被災地の状況をどう受け止めていけばいいのか。被災地で生活されている人々に思いを馳せ、様々な社会課題を背負った人々やその地域の課題をしっかりと受け止めて、来るかもしれない都心部での大災害に備えることが必要ではないかと考えます。

そこで、今回は災害関連死について考えていきます。

災害関連死について

「災害関連死」とは、地震による建物倒壊や津波、洪水が原因で亡くなる直接死とは別に、避難生活の疲労や環境変化のストレスから体調が悪化して亡くなり、災害が原因と認められた事例を言います。この中には自殺も含まれています。能登半島地震では、石川県で368人、新潟県で6人、富山県で5人、計379人(令和7年6月10日時点)の方々が、災害関連死と認定されています。石川県の場合、直接死数が228人(同時点)であるため、災害関連死数が直接死数を上回っている状況です。

まだ災害関連死の申請は多数出ているとのことで、増加することが予想されます。

災害関連死で亡くなる原因は生活環境の変化が多数

令和7年6月10日時点で、石川県の災害関連死で認定された方の直接死因は、循環器系(脳卒中や心筋梗塞等)、心身機能の低下、肺炎(誤嚥性、細菌性肺炎等)、インフルエンザ、コロナウイルス感染、震災ショックが多く、自宅から避難所へ移った方や在宅避難者が多くなっています。

一方、福祉施設のライフラインがストップしたことにより、他の福祉施設等への避難を余儀なくされるなど、生活環境が変わったことで心身機能の低下して亡くなった事例も多数にのぼります。その中には、福祉施設から避難所や複数の避難先に移動をしたことにより、食欲低下や高度摂食障害が起こり、亡くなった事例もあります。

まちに出て、今までの被災地の生活課題を発信・・・ 災害関連死を防ぐために

CSWと社協災害支援コーディネーターは、このような災害関連死を防ぐために何ができるかを考え、みんなでいのちを守るプロジェクト(MIMpj)を立ち上げました。今までの大災害でどのような課題が生じたかを整理して、地域に発信するとともに、みなさんと話し合う機会をつくっています。

昨年度も、22か所でMIMpjを開催してきました。少人数でも構いません。お声がけいただければどこでも出向きますので、CSW、社協災害支援コーディネーターにお声がけください。

令和7年5月に認定された一部事例から

(北國新聞掲載記事から抜粋)

- 自宅被災。震災によるショック・ストレス、自宅が半壊となったショック、停電断水が続く過密な避難所での体験、遠方での二次避難生活により心身に相当な負荷が生じたことで、脳幹部出血を発症し、回復しないまま誤嚥性肺炎で死亡(50代男性)
- 入所施設で被災。震災によるショック・ストレス、生活環境の変化などにより心身に負荷が生じ、誤嚥性肺炎を経て衰弱が進行、うっ血性心不全で死亡(90代女性)

予約不要

暮らしの何でも相談会

無料

7/4(金)

10:25~11:30

7/28(月)

10:30~11:30

@区民ひろば上池袋
(上池袋3-13-5)

7/10(木)

10:30~11:30

@区民ひろば朋有
(東池袋2-38-10)

7/11(金)

13:30~14:30

@区民ひろば豊成
(上池袋1-28-7)

CSWがお話を伺い、関係機関や地域情報などをご紹介します。お気軽にお越しください。

上記日程でご都合がつかない場合でも、相談は受け付けております。

電話相談(03-6844-3643)や訪問も行っておりますので、ご連絡ください。



ワーカーズコープ 地域に開かれた活動

新しい取り組み

身近に困っている人がいる。
こういうことできないかな。
そうだ、
ないなら
つくっちゃおう!

みんなのふくろう食堂

出張本箱

みんなのふくろう
おもちゃ図書館

私たちの活動について

①出張本箱へようこそ!
東池袋一丁目で社員食堂を利用して、地域の方の近場雨作りや本の活動や子ども食堂を開催している。みんなのふくろうおもちゃ図書館です。

②この本箱の本たちは誰でも読めるよ。無料で貸出、登録は不要です。

③イケ・サンパーク内で読んで、当日の開館時間中に返すね。

東池袋にあるワーカーズコープ本部職員の話し合いに声をかけていただき参加。

「本部に働いていて、地域とつながるとはどういうことなのか、どうしたらよいのか」

自分たちが行っている健康維持と交流のポールdeウォークで町歩きを、地域向けにも発展させていこうという会議でした。地域住民も一緒に参加する事で地域にある団体として、災害時・困ったときに来れる場、孤立を感じている人や地域社会に貢献したい方々とのつながる場を目指しています。興味がある方はCSWへご連絡下さい。

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
CSW 中央圏域担当 山本・小林
(区民ひろば朋有内)

TEL: 03-6844-3643

メールアドレス: csw_houyu@t.toshima.ne.jp

開所時間 月~金 9:00~17:00 (祝日・年末年始除く)

メールアドレス
読み取りコード



豊島区民社協 SNSやってます

豊島区民社協ではX、Instagram、LINEでも情報発信を行っています。ぜひ覗いてみてください♪

➡社協公式SNSはこちら!

